

9・17 強行採決阻止！ 13名不当逮捕徹底弾劾！

**仲間を実力で奪還しよう！
大弾圧に抗議・弾劾の嵐を叩
きつけよう！**

全国反戦青年委員会

全日本学生自治会総連合（伍代委員長）

東京都杉並区下高井戸1-34-9

03-3329-0165/0168 <http://zengakuren.info>

9月16日、警視庁は13名の闘う仲間を大量逮捕し、都内各所に分散留置しています。3名の仲間を「公務執行妨害」をでっちあげ不当逮捕した昨日15日に続き、またしても戦争法弾圧を凶行したのです。

政府—警察権力は、参院特別委員会で戦争法案を強行採決するために、大弾圧にでてきたのです。安倍は階級支配をファシズム的に転換してきたといえます。

戦争が弾圧と一体だということがはっきりしました。これが戦争法の正体です。弾圧粉碎を戦争法案粉碎の闘いとして闘いましょう！

◆弾圧粉碎！ 強行採決粉碎！

機動隊の阻止線を突破し国会前の道路封鎖を実力で打ち破る画期的な闘いが9月15日に実現しました。これに対して機動隊による報復テロとでっち上げ逮捕が凶行されました。

しかし、次の日、弾圧で闘いは絶対につぶせないことが示されました。闘う労働者人民が、戦争法採決阻止を掲げて反人民国会に向かって続々と進撃していったのです。大量の機動隊を投入した警視庁は、国会前の道路という道路を機動隊バスで埋め尽くしました。

「なんだこれは！」。怒りが爆発しました。昨日の闘いを数倍する「不当な鉄柵をとれ」「機動隊バスをどけろ」「警察帰れ」の怒りのコールが国会前で巻き起こり、参院委採決絶対阻止の闘いが爆発したのです。

あちこちで鉄柵を押しつけ怒濤のように押し寄せる労働者人民に機動隊指揮官は声をうわずらせ、浮き足立った機動隊は人々に襲いかかり、引き倒し、殴る蹴るの暴行を加えてきました。警察は、昨日規制線が打ち破られた総括を持って、指揮者があらかじめ「対象に注意しろ！」と指令し、狙い撃ち逮捕しました。逮捕された13名のうち、多くの仲間が負傷しています。絶対報復しよう。

◆弾圧を粉碎しよう！ 非妥協の完全黙秘—非転向をたたきつけよう！

戦争と弾圧は一体です。国内の労働者人民の闘いを根絶することで支配階級のための戦争は可能となります。先の「15年戦争」は治安維持法弾圧と一体でした。警察のいうなりの行動は、体制内に迎え入れられるだけで、戦争を止める根源的力にはなりません。いずれ戦争の補完勢力となるほかありません。ただ非妥協の実力闘争のみが戦争法を粉碎し、戦争を止める力となります。この非妥協の獄中における闘いが完黙一非転向闘争です。

巨万の声に対して、安倍は弾圧をもって応えてきたのです。戦争反対の闘いは弾圧を粉碎して進みます。必ずこの弾圧を打ち砕きましょう。

「集団的自衛権行使」閣議決定から戦争法反対の闘いの中で、抗議の自殺者がでています。7月、8月、そして9月14日、15日にも不当な弾圧が強行されています。しかし、マスコミはファシスト安倍の報復をおそれて「自主規制」状態です。弾圧に対する労働者人民の怒りが爆発することを恐れているのです。

仲間たちは、この不当逮捕に煮えたぎる怒りをもって完黙一非転向で闘いぬいています。これほどの人民の声を無視して戦争に突っ走る安倍政権に対して、交わすことばも交わす感情もありません。権力に一切の情報を与えないことが肝心です。写真撮影を拒否し、取調べを拒否して闘っている仲間もいます。

◆戦争法弾圧に反彈圧の闘いを！

私たちは、弾圧には反撃戦をもって闘います。15日不当逮捕当日、警視庁本庁に対して第一弾の弾劾行動を叩きつけました。16日深夜にも、多くの仲間が警視庁麹町署前を制圧し、弾劾の声を叩きつけました。怒れる皆さん！ 共に闘いましょう。警視庁本庁へ、分散留置されている都内各地の警察署に抗議を！

警察—治安弾圧機関を解体しよう！

抗議行動に集まってください！

9月18日（金）15時～警視庁本部前（千代田区霞が関2—1—1）
反彈圧カンパをよろしくお願いします。

カンパ振込み先：郵便振替口座番号00100-3-105440

救済連絡センター宛で必ず通信欄に

「2015年9・15、9・16戦争法弾圧粉碎救援会」と明記してください。

弾劾・抗議の声を集中しよう！

警視庁本部千代田区霞が関2-1-1 03-3581-4321

麹町警察署千代田区麹町1-4 3234-0110

赤坂警察署港区赤坂4-18-19 03-3475-0110